

杉並区基本構想実現のための区民懇談会

すぎなみ ちょこっトーク

～みんなで話す すぎなみの未来～

実施報告



～はじめに～

区は、区民の皆さんの暮らしを支える様々な仕事をしています。

これらの仕事は、区の将来像を示した「基本構想」と、その実現に向けた「総合計画」・「実行計画」等によって進められています。

そして、区はこれらの構想・計画の取組状況等を区民に報告し、区民の皆さんからご意見を伺う「基本構想実現のための区民懇談会」を設置しています。

昨年度は、18歳～44歳の区民を無作為抽出し、参加意向を示された区民が4～5人の小グループで、ファシリテーター（進行役）のもと、気軽に対話する方法で2回実施しました。

新たな取組でしたが、活発な意見交換が行われ、皆さんの杉並区への熱い思いを感じることができました。

これからも、ひとりでも多くの皆さんが集い、一緒に区の未来を考え、語り合うことのできるような場を作っていきたいと考えています。

今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

平成28年4月

杉並区政策経営部企画課

～もくじ～

ちょこっトーク パート1.....	3
ちょこっトーク パート2.....	11

すぎなみ ちょこっトーク

～みんなで話す すぎなみの未来～

Part 1

テーマ

「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるためには？」

平成 27 年 10 月 31 日（土）

13:30～16:30

（杉並区役所 第 4 会議室）

Schedule

- ◆はじめに ~ごあいさつ~
杉並区長・明治大学 牛山久仁彦教授
- ◆ワーク3：
結婚・出産・子育てのしやすい杉並とはどんな区？
- ◆アイスブレイク
- ◆ワーク1：
あなたが考える住みやすいまちってどんなまち？
- ◆ワーク2：
結婚・出産・子育てがしやすいまちってどんなまち？
- ◆振り返り
 - ① 今日参加して気づいたこと、感じたこと、思ったこと
 - ② 杉並区にやってほしいこと、取り組んでほしいこと、杉並区と一緒にやってみたいこと
- ◆杉並区の取組について（区役所から説明）
- ◆講評（牛山教授）



【ファシリテーター】

NPO 法人 bond place 代表 小笠原 祐司

山梨県山梨市出身。人と人をつなぐ多様なワークショップやファシリテーション、人材育成のコンサルティング、NPO 事業支援などを行う。山梨と東京の二拠点をベースに、二地域のワークスタイルを実践中。

皆さんこんにちは。杉並区長の田中良です

今日のテーマは「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるには」です

皆さんが実際生活をする中で感じていることをどんどん発言してください

今後の区の計画、施策にできるものから反映していきたいと考えています

区長あいさつ



明治大学 牛山教授あいさつ



皆さんこんにちは。牛山です

私は、やっぱり住民というのは、ただのお客さんじゃないと思うんですね

もちろん行政がしっかりやっていくことが前提ですけども

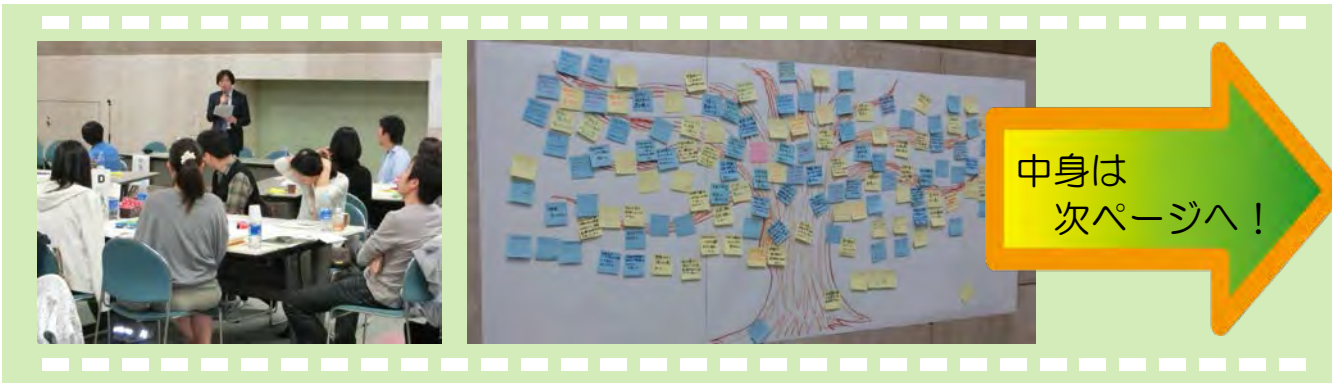
こういう風になったら杉並区もっと良くなっていくんじゃないか、とか

こうやったらもっと子どもが増えるんじゃないか、とか、そういう事を今日はぜひご議論頂ければと思っています



ちょこっと写真館





みんなの木 (Yellow) …参加して気づいたこと、感じたこと、思ったこと

出産

出生率 23 区中
21 位が驚きました…

出生率 0.99%!?
転出してく人、ママ
さんが多いので納得

出産する前は不安
だったこと

出産を機に区外に
引っ越してしまう

出生率が低い原因
分析でどの位でき
ているの?

出生数が増える
割には出生率が少
ない

子育て

やはりポイントは
保育の充実!

子育てをすると制
限されることが多い

想像以上に子育て
の大変さを知った

子育てに非常に高
い関心がある(男
女問わず)

杉並区の子育て
応援券助かっていま
す
ありがとう

子育ての環境がそ
ろっているとは思
わなかった。

保育園を簡単に増
やせない理由って
なんなの?
抜本的な改革はで
きないの?

住環境として杉並
は良い区だが、子
育て環境としては
まだ改善の余地あ
り

色々な方の意見、
特に女性・母親の
ストレートな話が
きけて参考になり
ました

子育て応援券があ
る事を初めて知っ
た

子育てが大変な事
だと実感した

働き納めながら、子
供を育てることが
難しいと感じた

子育て応援券では
出産につながら
ない
保育の充実

保育園に対する気
持ちは持ち手の方
は同じ考えをして
いる

子育て世帯と独身
世帯(夫婦)との
交流の場がほとん
どない

子育てに対する不
安(独身女性)を
解消するためには、
経験者の体験談
が必要だと思う

子育てをされてい
ない人も、たくさ
ん良いアイデアを
持っています

支援が拡充してい
るとはいえ、現役
子育て世代の意見
では「まだまだ」
ということ

杉並区は待機児童
は多いけれど
それだけ人気の区
であるからこそ

子育てについて「皆同じ事
で悩んでいる
自分だけじゃないと思
えた
男性の子育てについて
の意識
が高くておどろいた」

結婚して子育て中
の私、子育て中の
ママとお話する
機会が初めてでと
てもいい機会にな
ってうれしかった
し、参考になった

その他

ちょこっとークは
よい企画→活用で
きるとベスト

立地はすごく良い

自分が意外にも区
に対して思いがあ
ったなど

杉並区民の方は本
当に皆さん良い人
ばかりです

杉並区は家賃が高
い!→住み続けら
れない??

3世代でくらし
たい街に

治安が良く、住み
やすい土地だと感
じました

永福町が素晴らし
い

区民の意識レベル
の高さ

意見を出し合う必
要を感じた

結構色々な取組を
している事を知っ
た

ちょこっとークは
良いところみだ
と思う

方南町駅に「オロ
スンジャー」とい
う活動をしている
人がいること

区民が主体的に取
り組んでいくこと
が必要だと強く感
じました

今回の参加を通し
て、区に興味を持
った
良い施策があるこ
とを知った

杉並区からファミ
リー世帯が転出し
ていっているとい
う層があるが、な
ぜそのようなな
ってしまっているの?

区にしてもらっ
ただけでなく、私
はいち区民として
何が
できるか?

杉並区は周辺環
境(治安・通園通
学・緑など)は良
い

公園が多い、住み
やすいという意見
を多く聞いた→さ
らに良いものを求
める
レベルは高い

住んでいる区が、
一般の人を巻き込
んで施策を検討し
ていることを知っ
た。

区から便りが来る
まで、こういう事
に意識が向いてな
かったので良い機
会だった

久しぶりに充実
した時間を過ごせ
ました
勉強したことを参
考にしたい

参加者のみなさま
区役所のみなさま
おつかれ様でした
楽しかったです。

杉並区は暮らし
にはすごくいい街
だと思った(アク
セス etc.)

駅構内のエレベ
ーター、トイレ、ホ
ームドア充実して
いる

今回のような会
が開かれているの
を初めて知った! 区
での活動をもっと
全体に発信して欲
しい

あまり目にするこ
とのなかった区の
取組など色々わか
って良かったと思
います

思ってた以上に、
参加されている
皆さん、杉並区に
住んでいる環境自
体に不満を感じて
いることが少ない
のかな?と感じた

このような場があ
ることはとても
大事であると思
った
みなさんやさしい
方ばかりで、近所
の方も話しかけれ
ば実はやさしいの
では?!と思えた

・「阿佐ヶ谷の南北
でバスが分断され
てるのが不便」と
いう意見に目から
ウロコ確かに!
・治安・交通の便
・子育て支援(金
・人)

こういう企画があ
ると、自分の考
えとかも区が考
えてくれるかた
と思うから意見を
区に
言いやすい
通るかどうかはさ
ておき

区民の皆さんと自
分の考えている
ことは、思ったよ
り似ていることに
安心したことと
ともに、ぜひ実現
に向けて協力し
たいと感じた

区のこととはま
ったく考えてい
なかったけど、こ
ういうのがあ
ると考えるし、区
の現状や、何を
やっているのか実
感として知れる
のはよかった

こうやって区民が
話し合う場は必
要だなと
人数が多いから
難しいかもしれ
ないが、若い世
代(20~40位?)
の区民全員にや
ってもらっては
どうかと思った

みんなの木 (Blue) …杉並区にやってほしいこと、取り組んでほしいこと、杉並区と一緒にやってみたいこと

すまい

子育て支援券の活用範囲を広げてほしい →家賃が安くなる →入園料の割引	子育て世代に家賃補助	ファミリー向けの住宅供給、家賃ほじょ	3世代、4世代同居を後押しする施策を
子育て住宅をいまあるアパートなどの活用を（大家さんに助成とか）	住環境の提供（公園、空き屋活用、リフォーム）	ファミリー世帯の住まいを早くつくってほしいです。高円寺はワンルームばかりです	

その他

住民税安くしてください!	子育て世帯の税金控除	子育て女性にも多様な働き方を	柔軟に選んで働ける街に
住みたくなる街づくり	区内で遊びたいと思う催し	駐輪場を増やす	地域のつながりを大切に
大人同士だけでなく子どもと大人など年代が違う人達が気軽に交流出来る場所が欲しい	・区のサービスをもっと充実させてほしい ・フルタイムで働けない	民間企業と連携した取組（行政だけでは限界）	児童館や集会所は、たくさんあってほしい身近に!!
保育・学校と地域の方が互いに理解を深める為の交流の機会が必要（Face to Face）	「FOR」ではなく「WITH」の方が、主体性が生まれる、もっと巻き込んでほしい	今日みたいな小単位での対話の場は本音も出るしとても大切 これからも取り組んでもらいたい	区民全員、社会全体で育てる意識へ
杉並区全体を見て、地域が横移動しかできなくて不便かも	区主体の取組みだけでなく、地域コミュニケーションへの助成・支援など、需要に対する適切な支援がほしい	行政だけでなく民間も巻き込むべき成し得ないことがたくさんある	子育て世帯とプレ子育て世帯をつないで!（情報交換したい） Ex 児童館に Cafe つくるとか?

情報発信

子育てに関する情報提供を（体験談 etc）独身女性が聞ける機会がほしい	出産にやさしい杉並区をもっとアピールしてほしい →これから産む世代へ
区の施策をもっとアピールしてほしい 勿体ない。	区民は知らない取組が多いので、ぜひ発信の仕方を検討していただきたい
区は発信力強く! 必要な人に必要な情報が届くように	杉並区がここまで考えている事をもっと区民にアピールすべき
情報・取り組みなど、多くの方が目に出るようになってほしい HP にのせるだけでは多くの人には伝わらないと思います 受身の方も情報は欲しいはず。	
杉並区が実現・実行している、施設やサービスや手当をターニングポイント（結婚・出産・子育て）に関係なく発信してほしい それが杉並区に住み続けてみたいと思わせる魅力につながるのではないのかな…と思います	

保育園ふやして!!（働くママはふえます!）	手当での拡充（住宅・保育など）	授乳室ふやして!!（区から助成とかできませんか?）	保育園間を回るバスを作って欲しい!	認可保育のところを増やして欲しい	杉一小的すぎっ?制度を全校に
保育料無料化（第一子から）	子育て情報、出産を目指している人にも展開してほしい	保育サービスの更なる拡充	保育師さんや栄養士さんにもっと気軽に相談したい	子育て。男性にもサポートを	結婚の日に杉並の子育てサービス・メリットを知らせる
保育園を設置する予算がもし足りないのなら、「PFJ」の活用はどうか?	私立、公立、私設など関係なく、区が保育園や幼稚園の送迎をしてはどうか	小学校に入って学童に入れたときにサービスはどうか ⇒サービスの質向上みてくれる人	男性の育休など、子育てに関する協力体制を区がバックアップして欲しい	近所の民間企業が協力して、職場の近くに保育園を作り、相互で利用できるようにしてほしいです	2人目を産むのを決めるのに8年かかりました 2人目を産出できるための目玉がほしいです
認可・無認可・認証…どの保育施設でも所得に応じた一律の利用料	共働き世帯のモデルケースの提示（生みたいと思っている世代に対する不安感の軽減）	児童館ももっと活用方法あり ソフトの充実を!	出会いの場を増やしつつ杉並にあるお店の紹介をしていってアピール	1つの地域でいくつかの会社と連携して、お金をせっぱんし、駅に1つ保育所を作れば、働いている女性が仕事と育児を共有できるのじゃないか	
「子育ての杉並」等キャッチコピーを作ることで住民の意識（=ソフト）を変える（住民からの配慮は子育て環境を考える上で重要）	転入届のときに杉並の情報誌をくれるように、婚姻届のときに出産・妊娠に向けた情報がほしい→男性・女性向けの	杉並区は子育て特区として社会全員で子育てに取り組む街づくりをしてほしい	待機児童が多いのは保育士が少ないから? 保育士が少ないのは真金が低いからなのでは…?	保育園に対しては皆が同じことを感じているので早期解決を	
共働き男性に対しての子育て教育? サポートなしでは女性は厳しい	既存の施設、近隣住人をまきこんで住民参加型子育て支援サービスを!	「就学援助制度」所得限度額を（以前かそれ以上に）拡大してほしい	保育士が足りないのなら、地域の人でも巻き込めたら良いと思う	3人目出産からの支援充実ではなく、2人目からの支援拡充をしてほしい（1人の子供から2人目を考えるときの方が2人目から3人目を考えるときよりも、経済的余裕をハードルに感じる人が多いと思う）	
保育園の送迎は本当に大変! 保育園を巡回するバスをぜひ作ってほしいです	企業と連携して保育所付きの企業を設置してほしい 阿佐ヶ谷駅近くの元ゴールド街を活用出来ないか?	子育てサービス充実しているが、サービス受けられる人と否の人に格差あり	0才児から希望しないと入所しにくいって話をたくさん聞いたので、選択がふえれば良いと思う 何才でも入所しやすく!	プライダルチェックのすすめや助成→これを機に産婦人科へのハードルが下がり、身近になればいいな（不妊治療も早まるかもね）	
			小・中学校のイジメ問題対策（安心して教育を受けられるように）	児童館や使われない小学校が有効活用⇒子どもをみてくれる人が足りない? 子育て経験のある人	認可外保育施設に通っている待機児童に補助金を!（対象となる施設のみに限らず）

結婚・出産・子育て



みなさんの暮らしの中で、行政に支援を期待する部分も多いと思います

ただし財源など、行政にも限界がある

そうすると利益の引っ張り合いになる。これはある意味政治ですよ

一方、今日のような場で住民どうしが公共性みたいのところから議論をする

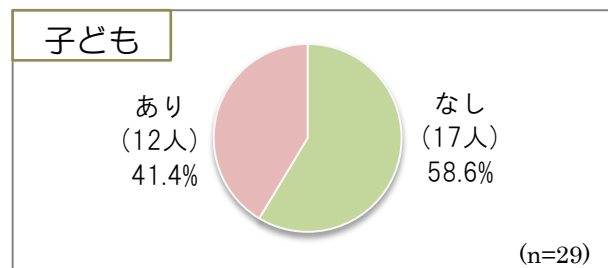
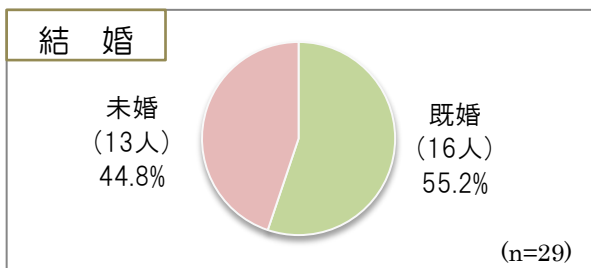
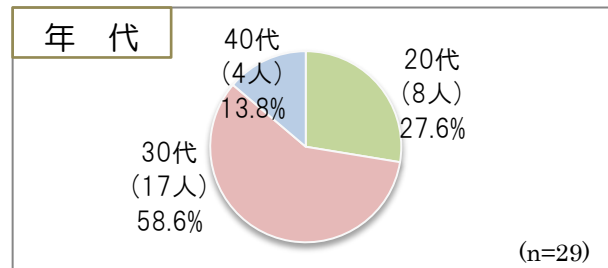
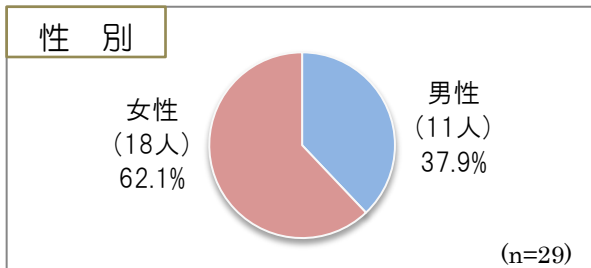
こうした議論が積み重ねられていくと、色々な問題が解決していく

そうすると、逆に政治も良くなっていく。そんなふうに感じました

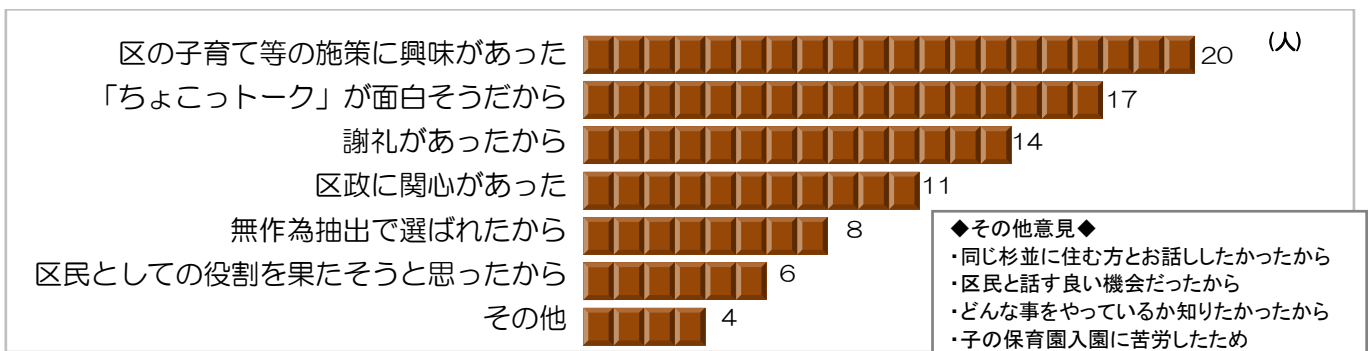
こういった機会がありましたら、またぜひ参加し、意見を頂けるともっと住みやすい杉並になると思います

～参加者の声（参加者アンケートから）～

- 18歳以上 45歳未満の区民 1500人 を無作為で抽出し、案内状を郵送
- 参加希望…40人 当日参加…29人



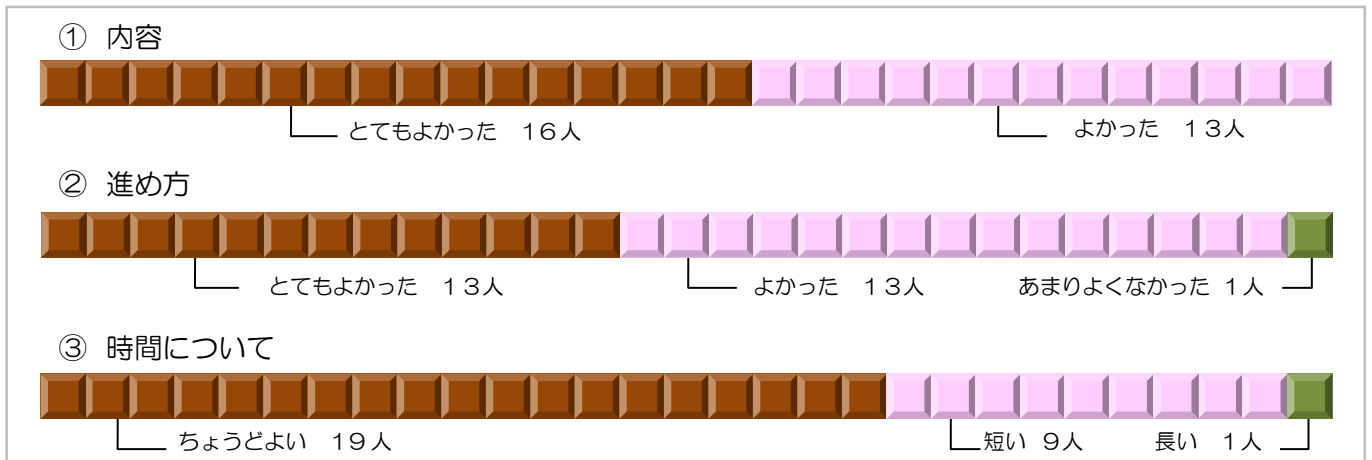
Q1 参加の理由（複数回答）



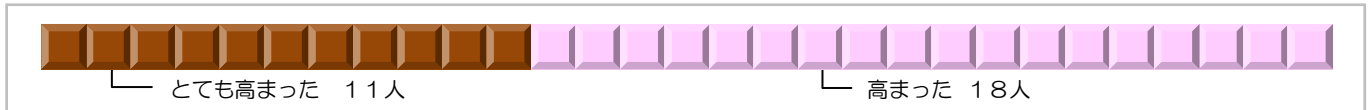
Q2 テーマを決めて、無作為抽出で参加者を募るやり方をどう思うか



Q3 進め方について



Q4 区政に関心が高まったか



—自由意見—

今回のように区で開かれている会を全体にもっと広げたいと思う

空き家・空室の活用を図っていくべきだと思います。有効に活用して託児所の設置や住宅に化けるのも良いと思います

移住してくる若者が、定住していけるようなサービス・支援が充実していると、少子化問題の対策の1つになると思います

このような行政が主催するもので、ゆったりまったりなやさしい集まりはとても有益と思った

区の施策について知ることで、関心を持つことができました

子育て中のママと独身女性をつなぐイベントが欲しい

区民に求める意見の計画への反映の仕方も示してもらえともう少し違う意見出しにもなるかと思いました

行政に要望を挙げるだけでなく、自らの区民としてできることを小さなことから実践していくことが大切と思いました

区民としてもっと区政に興味を持って街づくりに貢献していきたいと思いました

区と区外の企業の関わり、働き方の多様化をうながすような取り組みがあればよいと思います

今日話し合ったことが今後どう生かされていくか、どんなスピードで進んでいくか見ていければと思います

経済的支援に終始するのではなく、近隣住民の子育てに対する理解や協力の意識を育むことが重要だと思う

今回のような意見交換はとても皆さん話しやすくて気楽にできました

単身世帯が多い杉並で、同じ区民と知り合う機会がないので、今回参加できて良かった

もっと区政に参加したいと思いました。そして、こういう機会を与えて下さった杉並区、いい区だな～と思いました

今回無作為に1000名以上の方から、行政の取り組みを知りたいという思いから参加された方々が集まった中、杉並区が行っているサービスや手当が全員把握されていない(自分も含めてですが)現状は、どうかと思います

子育て世帯とプレ子育て世帯をつないでほしいです

非常によい会でした。次の機会があるのなら参加したいとも思いました。その度のテーマによって難しいとは思いますが、なるべく若い人を多めに選出して催すべきだと思います

すぎなみ ちょこっトーク

～みんなで話す すぎなみの未来～

Part 2

テーマ

「区政情報の発信力を高めるには？」

平成 28 年 3 月 19 日 (土)

13:00～15:30

(杉並区役所 第 4 会議室)

Schedule

- ◆はじめに ～ごあいさつ～ 明治大学 牛山久仁彦教授
- ◆アイスブレイク
- ◆ワーク1：
普段、何かを知りたいと思ったとき、どのように情報収集をしていますか？情報収集をされていて感じることは何ですか？
- ◆ワーク2：
最近、杉並区の情報が必要になったことはありますか？それはどんな時ですか？どのように情報収集しましたか？
- ◆杉並区の実情について（区役所から説明）
- ◆ワーク3：
もっと情報を得やすくするために工夫すればよいと思うことはありますか？
- ◆振り返り
 - ① 今日参加して気づいたこと、感じたこと、思ったこと
 - ② 杉並区へのご意見・提案・要望
- ◆講評（牛山教授）

【ファシリテーター】



NPO 法人 bond place 井上 晶夫

対話をテーマに活動。
人と人が話をする中で相互理解が生まれたり、尊敬から影響を与え合えたりする人間関係に関心がある。
ワークショップデザイナー／ファシリテーターとして、人と人をつなぐ場づくりや物事の伝え方を学ぶワークショップを实践。

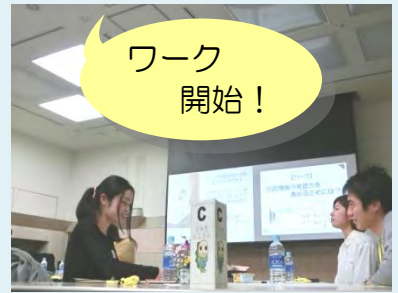


NPO 法人 bond place 真鍋 薫子

普段はシステムエンジニア／IT コンサルタントとして働く一方、2014年5月より、民間・企業・非営利組織の3つのセクターを横断して社会課題を解決する「トライセクター・ファシリテーター」としてフリーで活動を開始。



ちょこっと写真館 パート2





みんなの木
作成中



みんなの木
完成！



みんなの木(YELLOW)・・・今日参加して、気づいたこと、感じたこと、思ったこと

情報発信について

必要性を考えた上で取捨選択していくべき

杉並区からの情報発信は申し分なし。良くやってくれています

区でこんなに多様な情報発信ツールを持っていたこと

杉並区はけっこう情報発信しているなと感じました

受け身の情報だけでなく、たくさんあるせいかくの計画の情報を、自分からもとりに行って活用したいと思います

前回同様、議論は非常に活発で楽しいです
このような場合は、それ自体が一つの情報発信になっていて良いと思います

区のHPから情報収集をしようという概念はないと思う 必要にせまられない限り

ツイッターがあまり活用されていないのがオドロキだった

情報が多すぎて凄いなと感じました

地域のつながりから区の情報がつたわるぐらいの近所付き合いをしたい

世帯によって必要としている情報は異なり、学生あたりは必要とせず、ママあたりが活用していることを知った

紙媒体の資料多すぎでは？
経費もかさむし、もっとアピールの仕方考えるべきでは？

若者世代にはネットという考えは甘い
SNSが活用できるとは限らない

情報発信のむずかしさ

全ての情報発信が、万人受けしようとして、情報が散まんしている

世代によって区の情報入手先が全然違うため、今が一番伝え方が難しいんだと思った

情報発信の目的は明確なんでしょうか？区にとって情報発信自体が目的になっていないでしょうか？

杉並区民だからこそお得な情報を発信→そこから区政などにも興味をもってもらおう

やり方(情報発信)を話し合う前に、そもそも何を発信したいのか

意外と色々広報している

区民はお客様ではないので、情報を待っているだけではダメだと思う

ネットから情報収集される方がやはり多いけれど、その情報にたどりつくのに皆さん苦労されている

若者にとって区が伝えなければならぬ情報は何か
→若者に必要な情報とは

10～20代の「分からない」というアンケート結果が非常に情けない(若者側に問題ありと考えます)

区の情報はアンテナをはっていないと収集ができない
本当はゆっくり広報を読みたいけど時間もないのでピンポイントの情報だけになってしまう

区が必要な情報を整理してわかりやすくすること
同時に、地域のコミュニティを深めること→情報の伝達共有に必要なこと

情報発信はある程度されている。
・若者に知ってもらって何をしたい？
・杉並区は情報知ってもらって何をしたい？
・投票率上げたい？
・お祭り参加してもらいたい？

世代ごとのワークをいろんなテーマでおこなえば情報の発信ができ杉並愛も生まれると思う

参加した感想・その他

今日は話を聞きやすく、話しやすい雰囲気でした

前回よりもより一層気楽に話せた印象で、楽しい時間になった

杉並区って住みやすいな

今年も楽しめましたが、メンバーは無作為で選んだ方がよいと思います

雨がふっているのに、これだけの人が区に関心を持っているのがすごいと

年代のちがう方(学生)の意見が聞けたので、大変ありがたかったです

杉並育ちの学生がずっと杉並に暮らしたいと言っていて愛されていると思った

他区に負けない部分や、欠陥している部分を知りたかった
→区の特徴

〈ちょこっとークについて〉
・ちょこっとークの日程
→3連休の初日はちょっと・・・
・毎回同じ人だと、意見が片寄るのでは？
・実際の職員の方も交えて意見交換すべきでは？

イベントなども、主婦層などを対象としているイメージで、若者が参加しにくい

皆さん、普段の生活で区との接点が少ないと感じると同時に、必要性も感じていないよう見受けられます

みんなの木 (BLUE)・・・杉並区へのご意見・提案・要望等

広報

広報について
もっと肩の力を抜いて
もいい気がしました

広報誌 全戸配布希望
月3回すべてとは言いません...

月3回の広報紙を学
生・社会人・ファミリー
など世代に分けて発行
してみても??
月1回で

広報すぎなみ
新聞取らないと情報を
ゲットできない
それ以外の全区民にも
確実に行き渡るように
すべきでは?

広報すぎなみの全戸配
布(月1回でもよいので)

地域のふれあいをもっ
と増やしていくと、杉並
について気になり、広報
に対するの興味が

広報すぎなみ
月3回テーマごとに分
けるべきでは?
・独身者向け号
・ファミリー号
・シニア世帯向け号

必要な情報が伝われば「区
の情報発信」にこだわる必
要はないと思います

くらしの便利帳はPDF
化! (希望者のみ紙媒体
で配布)
浮いた予算を活用して区
の政策、支援制度を伝え
る。“コンシェルジェ”を
雇用し、イベントを抱え
る家庭を全戸訪問。
退職した高齢者をコンシ
ェルジェとして活用 (非
常勤職員として)

くらしの便利帳→ネット
にして更新できるように
して

入居時に「くらしの便利
帳」を渡すだけではなく
て、子育てに関する情報
など、きちんと区民に説
明すべきでは?

くらしの便利帳

twitter をもっと活用し
てみては?
若い人は twitter をよく
活用しているので、面白
おかしくやってみるのも
OK

SNSで発信する際に、
Yahooのトップニュー
スの見出しのように、分
かりやすくかんけつな内
容の見出しにして、必要
な人が、情報を探しやす
くする工夫が必要

SNSで、若者が食いつき
やすい情報が、1日1回
などで流すべき
(大学の情報発信を参考
にすると良い?)

区民参加型のSNSがあっ
たら面白いと思います
地域や店、区の静観など
Facebook等の大きなもの
でなく地域特化したものが
あると情報の選別・密度が
上がります

ツイッターなどで、何か
を検索したときに、区の
アカウントがひっかかる
ようなシステムが必要
(ハッシュタグなど)

SNS

情報発信

区からの情報発信にあ
まりお金をかけ過ぎな
いでもらいたい

区の情報発信は堅いイ
メージがある。
文字よりも図や絵を多
様しないとい読むハー
ドルが高いのでは

HPも、テーマ別にリンク
を作った方が良い。
・旅行、レストラン etc
・年代別など...

ネット広告のしくみ等
利用して杉並区の情報
を配信できたら面白い
と思います
→「子育て」検索をし
ている人に「子育て」
関連の情報が表示され
るような

知りたい時に、すぐに
“解決”してくれる情
報にアクセスするた
めのルール

全戸に配布のミニ新聞
は、知りたい情報だけ
なく、知らなかった事
を知る機会にもなる
と思うので良いと思
いました

情報発信のきっかけは
口コミからでも良い
と思います。とても環境
の良い区なので

情報発信の媒体の多様
化が良いことと思う
が、その媒体の存在と媒
体へのアクセス方法も
周知すべき

情報を知ってもらうこ
とによって得られるこ
とをもっと明確にす
べき。若者発の地域コ
ミュニティ作って、芸
能人やアイドル使って
体的にアピールする

区民情報を利用して、そ
の区民に必要な情報を
ネットのバナー広告に
掲載
(例えば、赤ちゃん本舗
のサイトに子育て応援
券の情報を記したバ
ナーを)
国民の趣味・嗜好は多
様化が進んでいる!!

情報感度があっている
人と話すとき盛りが
上がる

区民のアイデアが自由
に書き込めるサイト
(SNS)を立ち上げ、そ
のサイトからは区内の
レストラン等のクーポン
をDLできる
(サイトの運営は区内の
事業者からの寄付と出
資で)
アイデアは次年度以降
の区政へ反映していく

その他

杉並区のブランド化の
目的は?方針、戦略
手段の目的化?

ターゲットに合わせた
打ち手を期待

取組が多岐に渡りすぎ
て、一つ一つの内容が
薄くなっている感あり
ます 項目をしぼって
内容の充実を

「ごみカレンダー」
大きな変更がないのと、
24hごみ出しOKの
マンションで不要
全戸配布はいらない?

杉並区で生まれ育った
人間の積極的な行政活
動(職員採用など)
杉並区に愛着のある人
間による広報活動の励
行(宮崎県のそのまま
東レベルの人間を)→あ
れぐらいテレビで熱く
語るの思いを持った区
民をもっと活用すべき

発信力より吸収力が
大事

子育て応援券が廃止さ
れると今日知った
ビックリした

杉並区について広めたい
(若い方に)のであれ
ば、若い人がくいつき
やすいキャラクターや芸
人等を利用しまくる!

区内の交通移動が不便
環七の内側に住むとメイ
ンは新宿・中野になる
中野の広報誌は目にし
手に取ります

政策も発信も不満は少
なかつたりするので、官
民の区別をもっと飛び
超え巻き込めればよい

18~29才について出
てきたが、何を目的に
どんな事をやっているか
知りたい

メール機能の強化
(問い合わせなど)

杉並区のHP、ページが
たくさんありすぎて、た
どりつのが大変!

区の職員さんのプロフィール
が知りたい→人が分か
ると親しみやすい

区にお金を落とすこと
を大胆にやる

若者だけが受けられる
お得情報などを、提供す
る
・レストランリンクサ
ービス
・施設利用時割引

学生として思うのは、普
段から意識して行政の
情報を見ていないなと
いうこと

知っていて“得”するな
という情報はどんどん
DMでも何でもいいの
で教えてほしい
その上で、こんなことを
知りたいと思った時に
迷わない導線を作って
ほしい

Yahooトップニュース
杉並区全23区中最下位
保育倍率2.2倍。
2人に1人は待機児童
横浜市の用に、待機児童
0を目指す良い機会
では?

明治大学 牛山教授 講評

今日のテーマは情報発信ということでしたが、情報ってすごく難しいと思うんですよね

皆さんもそうだと思うのですが、知らないに興味がわからないし、わからないことに興味を持つ人いないですよね



自治体広報はつまらないとよく言われますが

自治体広報がみんなに読まれるって難しいですよね

民間では、読まれない、売れない雑誌はつぶれてしましますが、自治体広報は読まれないからやめるという訳にはいかないのです

読まれるためにどんな工夫が必要かとか

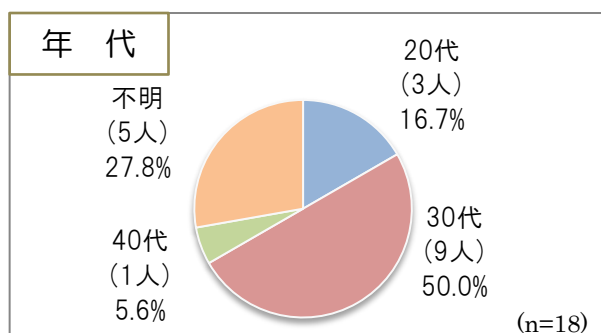
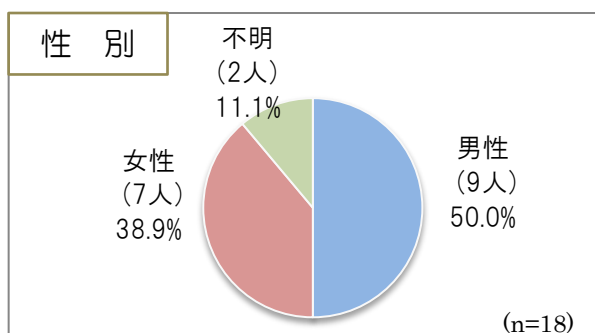
皆さんに読んでいただいて、しかもそれがどんな風に政策にフィードバックされるか、区の広報のあり方を今後も議論いただければと思います

「杉並を愛する」という話が出ていましたが

こういった会があちこちで行われて、地域を知る、地域について考えることが、地域を愛する、ということにつながっていくんだと思います

～参加者の声（参加者アンケートから）～

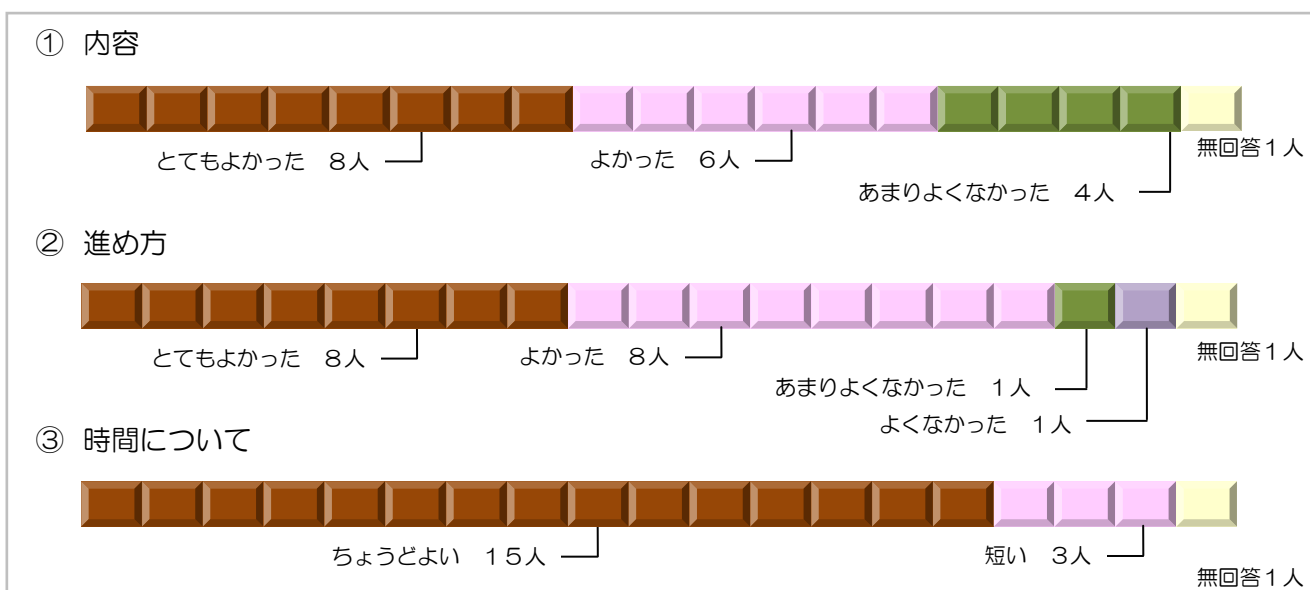
- 第1回の参加希望者（40人）に案内状を郵送
- 参加希望…24人 当日参加…18人



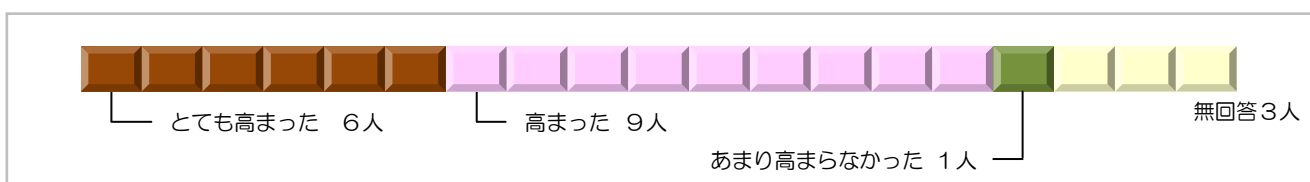
Q1 参加の理由（複数回答）



Q2 進め方、内容、時間について



Q3 区政に関心が高まったか



—自由意見—



インターネットの情報提供と入手が大半な現状ですが、これからはリアル（対人・セミナー・コミュニケーション）による情報入手も重要になってくると思います。

三連休の最初はちょっと・・・という意見もありました。

今回の会は、外部のファシリテーターを取り入れる等、色々な思索がほどこされ、とても良いと思いました。とても良い取組だと思います。是非続けてください。

非常に楽しかったです。

内容でよくなかったと思った点は、最初に区の情報伝達度などのデータ説明が欲しかった。（意図的にそうしているとは思いますが。）良かった点は様々な意見に触れた事、自分の考えを少しまとめる事が出来た事です。進め方はスムーズで不満はないです。

あと半年ぐらいで杉並区を去ることになりそうですが、可能な限り杉並区にいる間は参加させていただきます。

グループ移動のペースが少し早かったです。話しやすい雰囲気を作れたところにタイムアップになり、もう少し同じ人たち話したいな・・・と感じました。学生がもう少しいても良い気がしました。

今回は参加人数がやや少なかったと思います。もっと多くの人から意見が聞きたかったです。

一つ一つのワークに「？」が多すぎて、何を答えればいいのか分からない議論になった時もあります。

時間が短かったです。同じ区民の方々と意見交換する貴重な場でした。もっと行っていただきたいです。

ちょこっトークというネーミングから親しみやすそうなイメージで苦になりません。でも SNS などで杉並区から（行政から）となるとこむずかしい内容ではないかと勝手な先入観を持ってしまい目に見えないかも知れない・・・

とても有意義な時間でした。

個人宛かつ無作為だったからこそ参加を決めた気がします。楽しむ事ができました。ありがとうございました。

席のシャッフルが多く、もう少し同じグループで話し合う方が良いかも・・・。

ちょこっトーク part1 のほうがやりやすかったです。雑談しながら意見しあう方法是一緒だったのですが、今回はちょっと自由にできなかった。インタビューとか横から意見を見られたり聞かれたり・・・。



杉並区基本構想実現のための区民懇談会

「すぎなみ ちょこっトーク ～みんなで話す すぎなみの未来～」実施報告

平成28年4月発行

編集・発行 杉並区政策経営部企画課

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1丁目15番1号

TEL 03-3312-2111 (代表)

○杉並区のホームページでもご覧いただけます。 <http://www.city.suginami.tokyo.jp>